

府 中 市
社 会 教 育 系 施 設 (図 書 館 、 博 物 館 等)
個 別 施 設 計 画

令 和 6 年 3 月
府 中 市

▼ 1. 計画策定の背景及び概要

1-1. 計画策定の背景

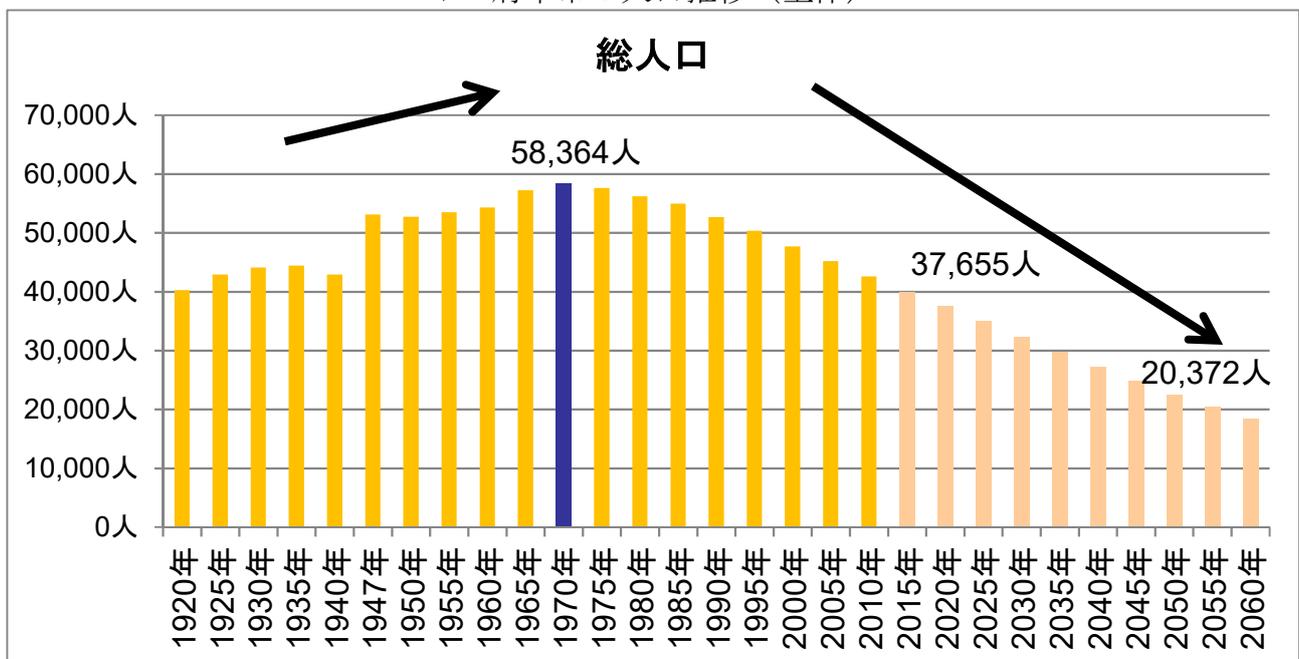
全国の自治体では、過去に建設された公共施設等がこれから大量に大規模改修や建て替えの時期を迎えることが懸念され、人口減少により公共施設等の需要が変化することが想定されています。公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画の策定に取り組むよう、総務大臣より各自治体に対し通知が発出されました。

府中市においても、多くの施設が築30年以上経過しており、今後、維持更新費用の増加・集中が予想されます。一方で、府中市の財政状況は、厳しさを増しています。歳出においては、扶助費の増加が著しく、歳入においては税収の減少や合併算定替えの終了による普通交付税の減額など減少傾向が続いています。こうした財政状況の悪化は、過去に類を見ないスピードで進行している人口減少により、さらに拍車がかかると考えられます。

府中市の人口は、今後40年間で大幅に減少すると予測されており、現在の人口37,655人（令和2年度国勢調査）が、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によると、2055年には20,372人まで減少するとされています。

以上を踏まえ、府中市における庁舎等のあり方について検討することで、適正な総量と再配置を実現することにより、持続的かつ安定的な管理・運営を可能とし、子や孫の世代に安心・安全な庁舎等を引き継ぐとともに、いつまでも、福祉や教育など市民生活に必要な行政サービスを滞りなく提供することができるようにするため、この基本方針を策定するものです。

▼ 府中市の人口推移（全体）



資料：「国勢調査」、社人研「将来人口推計」

1-2. 概要

- ・本計画は、府中市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）「第3章 施設分類ごとの管理に関する基本的な方針」に基づき、行政系施設の再編について具体的に示したものです。
- ・本計画の実施期間は、総合管理計画の計画期間に合わせた令和3-7（2055）年度までとします。

【数量に関する基本方針】

- ・社会教育系施設（図書館、博物館等）は、機能を代替することが困難なため現状を維持します。

【品質に関する基本方針】

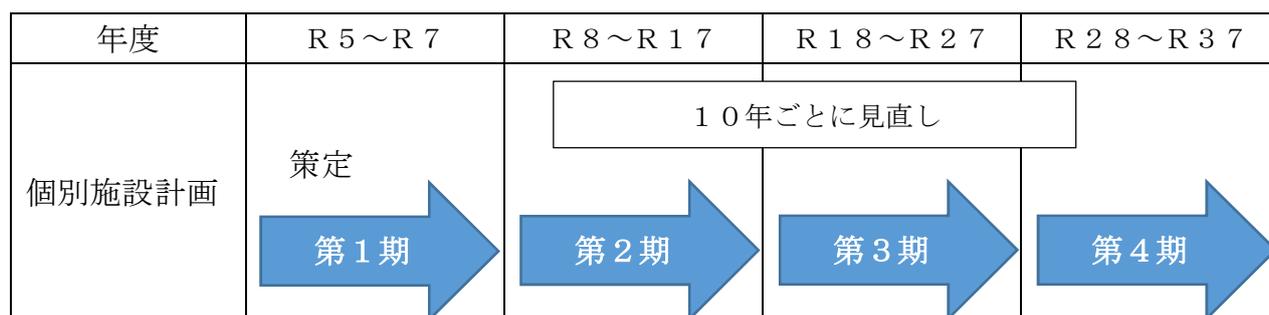
- ・施設の長寿命化を図ります。
- ・利便性を高めるために設備の更新等を行います。更新に当たっては LCC（ライフサイクルコスト）の縮減の観点から省エネ機器への転換を図ります。

【コストに関する基本方針】

- ・維持管理の適正化を図り、経費の削減を図ります。
- ・省エネ機器への改修によりランニングコストの低減を図ります。

▼2. 計画期間

総合管理計画の最終年度に合わせ、令和3-7（2055）年度までとし、その他の計画や事業との整合を図るとともに、財政状況や制度改正等、計画の前提条件に変更が生じた場合には、必要に応じ見直しを行います。



▼3. 対象施設

N o.	施設名	地域	築年	構造	建物延 床 (㎡)	施設の状況
1	府中市立図書館	府中町	平成4年5月	鉄筋コンクリート	2,316	75点/100点

2	歴史民俗資料館	土生町	本館：明治 36 年竣工、 昭和 52 年移築	木造	463.7	10 点／100 点
			管理棟：昭和 60 年 11 月	木造	78.3	75 点／100 点
3	上下歴史文化資料館	上下町	平成 15 年 8 月	木造	712	34 点／100 点

▼ 4. 課題

(1) 府中市立図書館

- ・施設は新耐震基準で平成 4 年に建てられており、耐震化も実施済みです。
- ・教養や生活を豊かにするサービスの拠点としての役割を果たしています。
- ・駐車場については、駐車台数も少なく、車路も狭く車両同士の離合が困難です。

(2) 府中市歴史民俗資料館

- ・本館建物は明治 36 年に竣工、昭和 52 年に現在地に移築された建物で、移築後 46 年が経過しており老朽化が著しいです。市指定重要文化財であり、その価値を維持した補修が必要です。備後国府跡や府中市の歴史を学べる拠点施設としての役割を果たしています。
- ・将来的には府中市街地へ建物を移築し、活用に適した改修を行う方針です。史跡備後国府跡整備基本計画でも備後国府跡や歴史を学ぶ資料館機能を持つ施設が備後国府跡周辺に必要とされています。
- ・管理棟についても建築後 40 年近くが経過し、本館とともに修繕しながら長寿命化を図っています。

(3) 府中市上下歴史文化資料館

- ・建物は平成 15 年に改築された資料館であり、上下の歴史や文化を学ぶ施設として、また、上下の町並みの中心部に位置していることから、町並み観光の拠点施設としての役割を果たしています。
- ・建築後 20 年が経過し、近年の豪雨に対応できておらず、豪雨時の雨漏りや浸水を防ぐ対策が急務です。市の建築部門や専門家等と検討したうえで、早急に部分改修を行う必要があります。

※更新条件：建築後 30 年後に大規模改修（25 万円／㎡）、60 年後に建替え（40 万円／㎡）令和 2（2020）年度から 36 年間の更新費は、15.1 億円と推計され、毎年約 0.4 億円が必要となります。建築後 40 年以上経過した建物が多く、建替え及び大規模改修時期を迎えております。実際には、施設の現況は様々であり、必ずしも予想される年度

に更新が必要なものばかりではありませんので、この数値はあくまでも目安でしかありませんが、一般的に、更新時期が近づくほど維持補修費が必要となる傾向にあるため、施設を更新しない場合であっても、かなりの維持補修費が見込まれるものと思われます。

▼ 5. 優先順位の考え方

施設の劣化について、下記の評価基準を設定し、対象となる建物全般について屋上や外壁、建物内への立ち入りによる目視等による簡易劣化調査を行い、その結果及び施設の利用人数など施設の状況を加味した上で優先順位を検討します。

目視による評価基準【屋根・屋上、外壁】

評価	基準	配点
A	概ね良好	100点
B	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし	75点
C	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる	40点
D	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある	10点

経過年数による評価基準【内部仕上、電気設備、機械設備】

評価	基準	配点
A	概ね良好	100点
B	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし	75点
C	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる	40点
D	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある	10点

▼ 6. 個別施設の状態等

(1) 府中市立図書館

・建築後30年が経過しており、外壁の劣化やタイルの剥がれ、雨どいの破損等が見られる。建物内部に関してもカーペットの汚れ、剥がれ、消防設備等の老朽化が見られる。

軽微な修繕に関しては指定管理者において実施しているが、電気系統、排水関係など大規模な修繕が必要である。

(2) 府中市歴史民俗資料館

・本館建物は建物自体が指定文化財で、公共施設として、耐震性、防火・防犯、空調設備に多くの課題がある中で、防犯上問題のあるものは展示しないなど配慮しながら施設管理をしています。

・雨どいや軒瓦が破損し、落下の危険性があります。

- ・壁に広範囲のひび割れがみられ、基礎の石にも割れがあります。
- ・窓枠に腐食、塗装の剥がれがあります。窓のシーリング材が劣化して剥がれています。
- ・照明器具に古いタイプのものを使用しており、LED化が終了していません。
- ・管理棟は壁にひび割れがあり、空調機にはほこりや汚れがこびりついて使用できない状況があります。
- ・照明器具に古いタイプのものを使用しており、LED化が終了していません。

(3) 府中市上下歴史文化資料館

- ・平成15年に改築した建物であるが、豪雨に対しての設計が不十分で、豪雨時には陸屋根部分から雨水がオーバーフローし室内に雨漏りします。また、側溝から溢れだした水が室内に侵入したり、庇がないところでは窓やドアから雨が吹き込み、壁や床が水浸しとなる状況があります。
- ・事務所棟の外壁にひび割れやカビによる黒変があります。
- ・空調機が天井に埋め込まれており、建築後一度もフィルター交換ができていません。吹き出し口付近には黒カビが生えている。
- ・照明器具に古いタイプのものを使用しており、LED化が終了していません。

▼7. 基本方針

社会教育系施設（図書館、博物館等）は、機能を代替することが困難であることから、計画的な修繕・改修、予防保全を行うことで、長寿命化を図り、長期的に活用していきます。

7-1. 整備方針

社会教育系施設（図書館、博物館等）の整備については、次の視点に照らし、計画的な実施を検討します。

- (1) 利用価値の向上・・・複合化、多機能化、IT化、バリアフリー化等
- (2) 安全性の向上・・・外壁改修、バリアフリー化、駐車場整備等
- (3) 省エネルギー化・・・照明のLED化等

なお、老朽化が進行した施設については、市の建築担当又は専門業者による診断を実施し、長寿命化工事又は建替えを検討します。

7-2. 日常点検

各施設の劣化状況を把握し、計画的に修繕・改修、予防保全を行うため、「日常点検マニュアル」を用いた劣化状況調査を年1回実施します。

▼ 8. 年次計画・対策費用

(千円)

	R5	R6	R7
府中市立図書館			大規模改修設計 1,200千円 → R8年度大規模改修 289,612千円
歴史民俗資料館	雨樋修理 2,640 →		
上下歴史文化資料館	外壁修理 366 →	部分改修（雨漏り対策）方法検討→	部分改修（雨漏り対策）工事 →

※上記の対策費用は実際に積算したもののほか、公共施設等管理システムにより試算している費用であり、この計画により予算が確定されるものではありません。

▼ 9. 日常点検の実施

施設の安心・安全の確保、予防保全を行い適切な予算の確保につなげるために、日常点検を実施します。

- (1) 日頃のチェック・・・日々の業務の中に点検の視点を導入して、五感を使って変化に気づくようにします。
- (2) 定期点検・・・年に1度施設の点検を行います。